

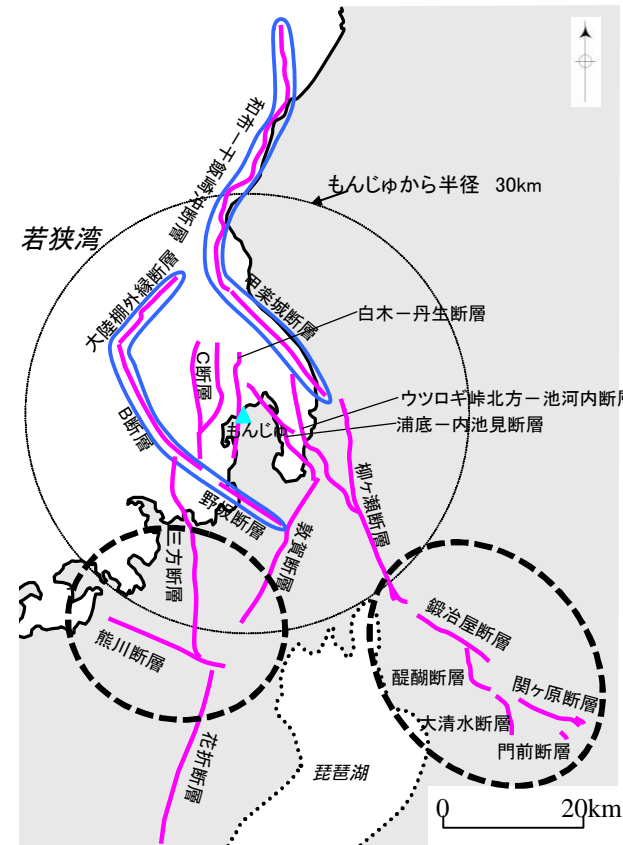
【活断層の連動性評価に関する指示】

活断層同士の離隔距離だけで連動を否定していたものについて、地形や地質の成り立ち、地盤に働く力の状況などを考慮して、改めて検討を行う旨の指示

*「平成23年東北地方太平洋沖地震から得られた地震動に関する知見を踏まえた原子力発電所等の耐震安全性評価に反映すべき事項(中間取りまとめ)について(指示)」,平成24年1月27日、原子力安全・保安院

1. これまでの評価

耐震バックチェックの審議では、以下の断層について連動を考慮。



(注)敷地から半径約30kmの範囲の主な断層について図示している。

データ拡充のための調査を実施する地域(現地状況等により変更の可能性がある)
新指針に基づき事業者が評価した断層
連動を考慮した断層

3. 今後の対応

今後も活断層の連動性評価に関する情報の収集に努め、新たな知見については、必要に応じて今後の評価に適切に反映していく。

2. 今回の検討結果

(1) 地形や地質の成り立ちに着目した検討

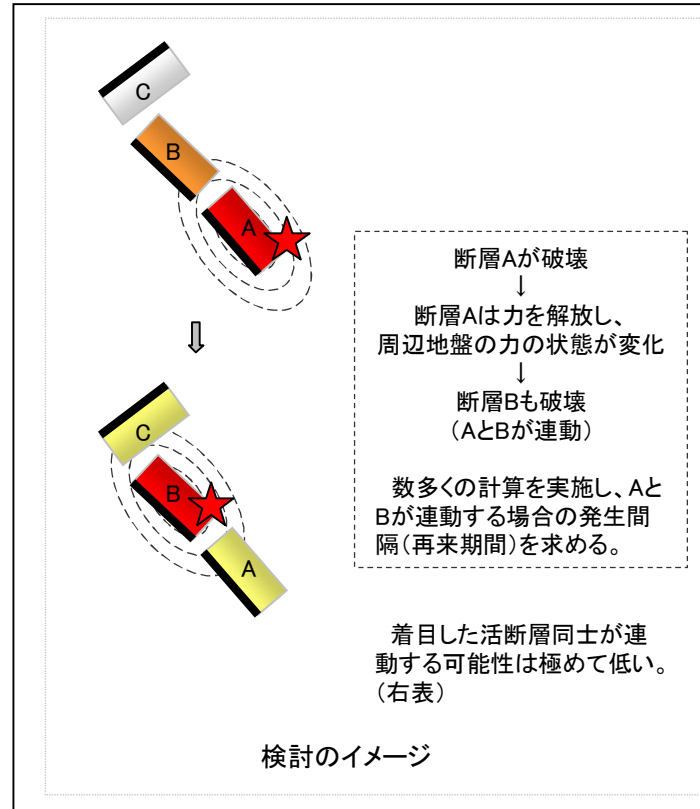
下記に示す活断層について、地形・地質の状況、断層の配列、走向・傾斜による地下深部の構造、文献等の既往の調査結果をもとに、連動の可能性について再検討。

- ・柳ヶ瀬断層とウツロギ峠北方-池河内断層
- ・浦底-内池見断層と敦賀断層
- ・浦底-内池見断層と白木-丹生断層
- ・C断層と白木-丹生断層
- ・C断層と三方断層
- ・三方断層と花折断層
- ・大陸棚外縁~B~野坂断層と敦賀断層
- ・大陸棚外縁~B~野坂断層と白木-丹生断層
- ・大陸棚外縁~B~野坂断層とC断層
- ・大陸棚外縁~B~野坂断層と三方断層
- ・和布-干飯崎沖~甲楽城~柳ヶ瀬~鍛冶屋~関ヶ原断層
- ・ウツロギ峠北方-池河内断層と浦底-内池見断層

→ 新たに連動を考慮するものはない。

(2) 地盤に働く力の状況に着目した検討

- ・活断層は繰り返し活動しており、活動(断層の破壊)に伴い地盤中の力のバランスが変化。
- ・力のバランスの変化によって、断層破壊が誘発され、断層破壊の発生間隔(再来期間)も変化。



→ 新たに連動を考慮するものはない。

| 着目した活断層 | 再来期間(年間) |
|--|------------|
| 柳ヶ瀬断層 と ウツロギ峠北方-池河内断層 | >1,000,000 |
| 柳ヶ瀬断層南部 と ウツロギ峠北方-池河内断層 | 約460,000 |
| 柳ヶ瀬断層南部 と ウツロギ峠北方-池河内断層南部 と 浦底-内池見断層北部 | >1,000,000 |
| 浦底-内池見断層 と 敦賀断層 | >1,000,000 |
| 浦底-内池見断層 と 白木-丹生断層 | >1,000,000 |
| C断層 と 白木-丹生断層 | >1,000,000 |
| C断層 と 三方断層 | >1,000,000 |
| 三方断層 と 花折断層 | >1,000,000 |
| 大陸棚外縁~B~野坂断層 と 敦賀断層 | >1,000,000 |
| 大陸棚外縁~B~野坂断層 と 白木-丹生断層 | >1,000,000 |
| 大陸棚外縁~B~野坂断層 と C断層 | >1,000,000 |
| 大陸棚外縁~B~野坂断層 と 三方断層 | >1,000,000 |
| 和布-干飯崎沖~甲楽城~柳ヶ瀬~鍛冶屋~関ヶ原断層 | >1,000,000 |
| ウツロギ峠北方-池河内断層南部 と 浦底-内池見断層北部 | 約920,000 |

数値は1万年単位で切り下げ